

2013年3月期(第2四半期) 決算概要

2012年11月2日

バンドー化学株式会社

1. 2013年3月期(第2四半期累計)決算の概要

(1) 決算のポイント

- 伝動事業では、自動車用については、国内の需要は減少傾向にあるものの、アジア、北米の需要拡大があり、増収を確保。一方で一般産業用については、先行き不透明感に伴う設備投資抑制の影響により、僅かながら減収。
- 産業資材事業は、国内の急傾斜用コンベヤベルトの需要増や海外の運搬ベルトの販売増により増収。一方、マルチメディアパーツ事業は、欧州経済の低迷等の影響から電子写真出力機器メーカーの生産落込みにより減収。

 結果、国内売上高はほぼ横ばいであったが、
海外売上高は増収に(海外売上高比率は40.8%(+1.0ポイント))。

(2) 2013年3月期上期(第2四半期累計)業績の概要



単位:百万円

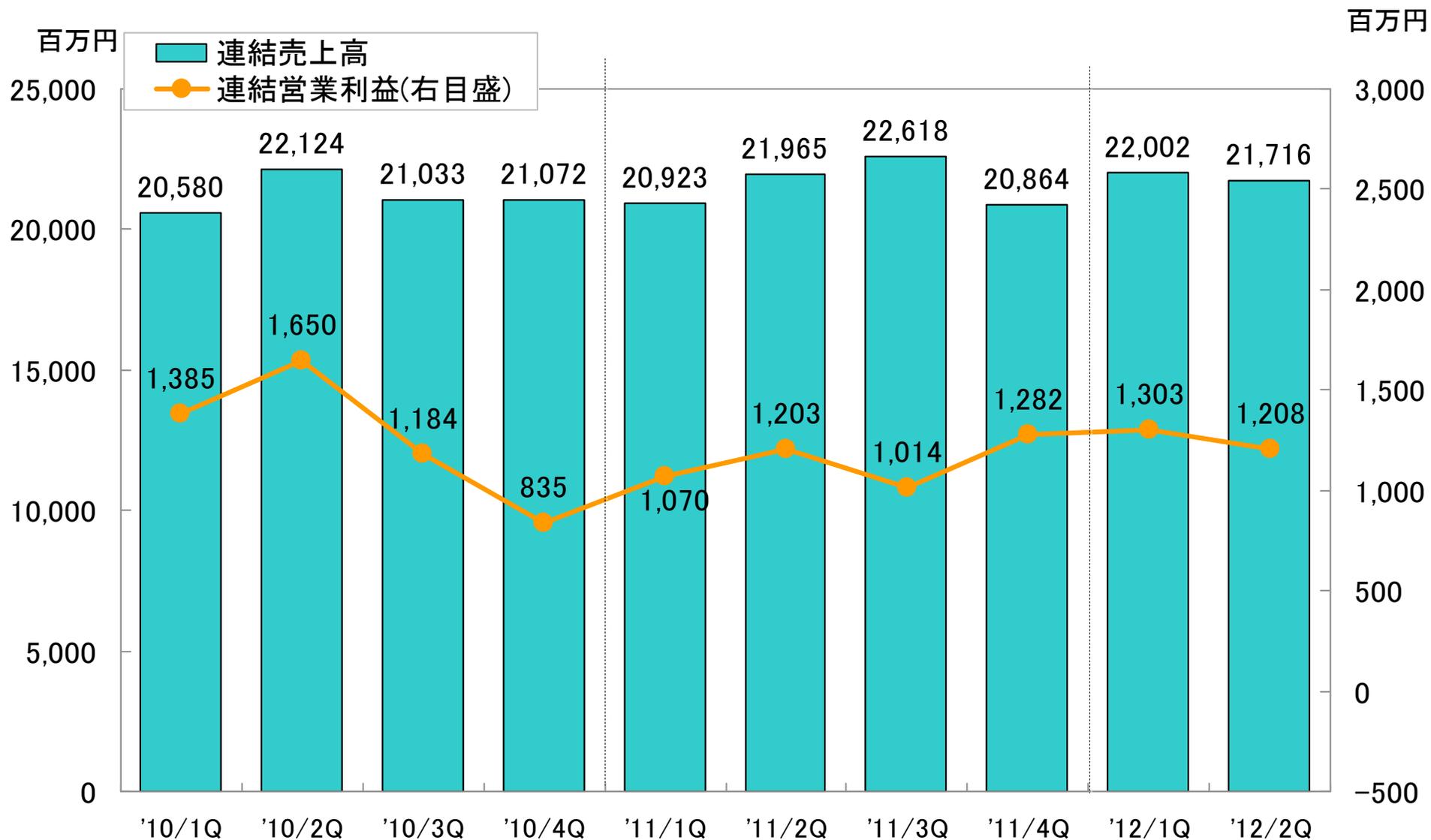
	'12/3期 上期実績	'13/3期 上期実績	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	42,889	43,718	+829	+1.9%
営業利益	2,274	2,511	+237	+10.5%
経常利益	2,274	2,769	+495	+21.8%
当期純利益	515	1,752	+1,236	+240.2%
海外売上高	17,049	17,823	+773	+4.5%
(海外売上高比率)	(39.8%)	(40.8%)	(+1.0pts)	—
アジア(タイ・中国他)	13,230	13,787	+557	+4.2%
その他(米国・欧州他)	3,819	4,035	+216	+5.7%

為替レート(期中平均)

US\$=81.8円

US\$=79.8円

(3) 売上高・営業利益四半期推移



(4) セグメント別売上高

単位：百万円

	‘12/3月期 上期実績	‘13/3月期 上期実績	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	42,889	43,718	+829	+1.9%

セグメント別売上高

伝動事業	26,699	28,003	+1,304	+4.9%
マルチメディアパーツ事業	4,645	4,064	△581	△12.5%
産業資材事業	8,328	8,727	+398	+4.8%
化成品事業	2,439	2,405	△34	△1.4%
その他事業	1,196	753	△443	△37.0%

※各セグメントの売上高は消去前

(5) セグメント別利益

単位：百万円

	‘12/3月期 上期実績	‘13/3月期 上期実績	前年同期比	
			増減	増減率
伝動事業	2,140	2,102	△37	△1.8%
マルチメディアパーツ事業	△102	△75	+26	—
産業資材事業	147	479	+332	+225.5%
化成品事業	49	70	+21	+42.3%
その他事業	77	39	△38	△49.0%
セグメント別利益計	2,312	2,616	+304	+13.1%
全社費用等	38	105	+66	+171.5%
営業利益	2,274	2,511	+237	+10.5%

(6) 営業外損益・特別損益

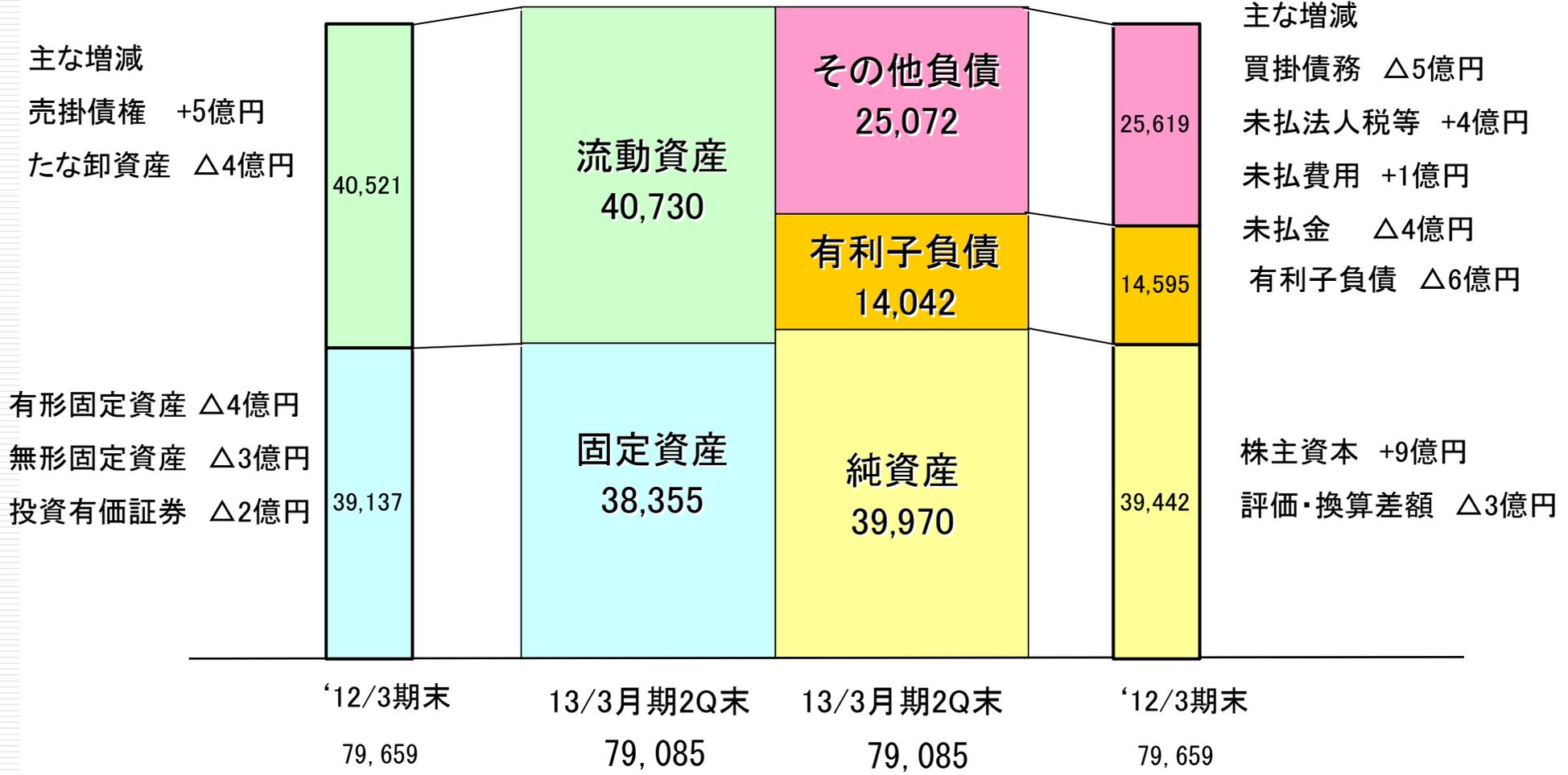
単位：百万円

		‘12/3期 上期実績	‘13/3期 上期実績	前年同期比 増減
営業利益		2,274	2,511	+237
	営業外収益	554	624	+70
	営業外費用	554	367	△186
経常利益		2,274	2,769	+495
	特別利益	3	4	+1
	特別損失	1,249	205	△1,044
	法人税等・少数株主損益	512	816	+303
当期純利益		515	1,752	+1,236

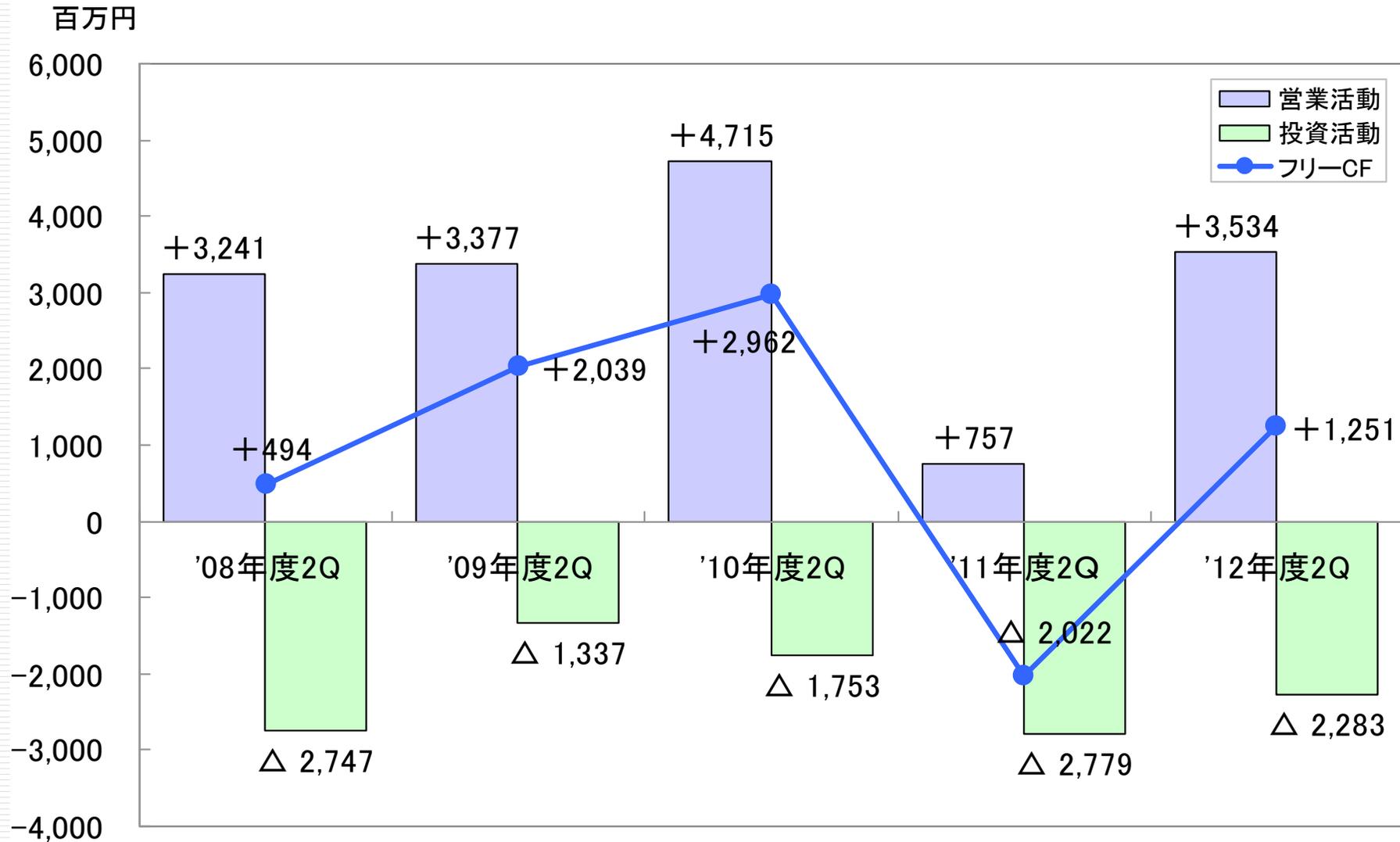
※前期特別損失の主なもの：社宅の売却損636百万円、工場跡地の減損459百万円

(7) 貸借対照表の状況

単位:百万円



(8) 財務状況の概要 (キャッシュフローの推移)



(9)指標

	‘09/3月期	‘10/3月期	‘11/3月期	‘12/3月期	13/3月期 上期
ROE	△0.6%	3.2%	8.5%	3.7%	4.5%
ROA	△0.3%	1.6%	4.0%	1.8%	2.2%
自己資本比率	48.7%	50.2%	47.9%	48.4%	49.5%
D/Eレシオ	47.3%	40.2%	44.5%	37.9%	35.9%
純有利子負債	122億円	71億円	27億円	35億円	29億円

※ROE、ROAの利益は当期純利益を使用

※13/3月期上期のROE、ROAの利益は上期純利益を使用

2. 2013年3月期業績予想

(1)業績予想のポイント

■ 当社を取り巻く環境

■ 国内

- エコカー減税の終了および設備投資抑制傾向
- さらなる円高の懸念

■ 海外

- 欧州経済の長引く低迷
- 経済成長を牽引してきた中国、インドの景気の減速感
- 中国における日本製品の買い控え（自動車メーカー・OA機器メーカーの減産）
- タイ、インドネシア、ベトナムなどASEAN新興国の底堅い需要

 これらの状況を勘案した結果、業績予想を下方修正

- ASEANをはじめとする新興国を中心にグローバル展開を加速
- 生産性の向上、経費削減の徹底等、収益力の改善をさらに推進

(2)2013年3月期業績の予想

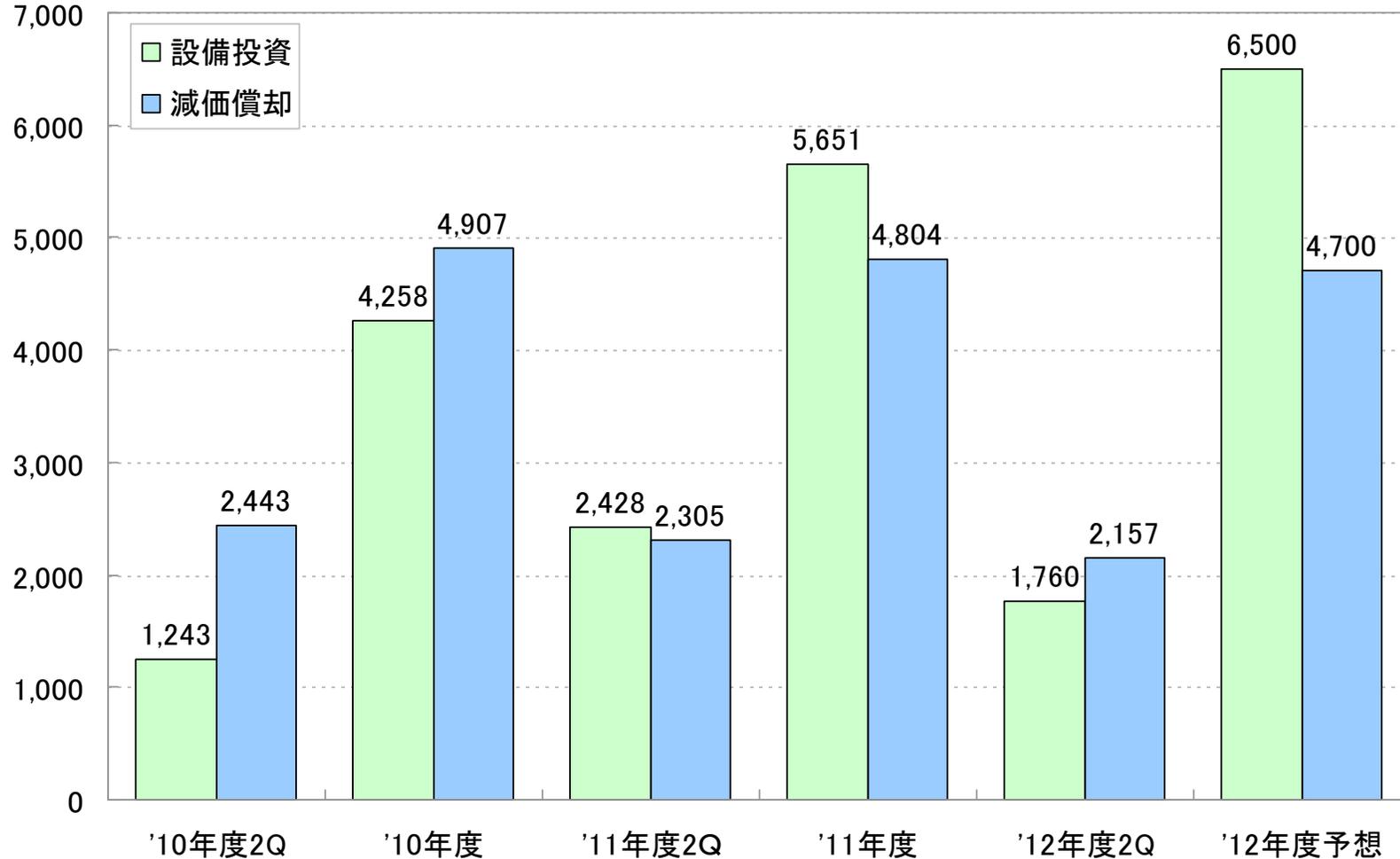
単位:百万円

	'12/3月期	'13/3月期	'13/3月期	前年同期比	
	実績	従来予想	修正予想	増減	増減率
売上高	86,372	87,900	85,000	△1,372	△1.6%
セグメント別内訳					
伝動事業	53,591	54,700	53,600	+8	+0.0%
マルチメディアパーツ事業	9,020	8,400	7,900	△1,120	△12.4%
産業資材事業	17,656	18,500	17,600	△56	△0.3%
化成品事業	4,923	5,300	4,800	△123	△2.5%
その他事業	1,796	1,700	1,600	△196	△10.9%
営業利益	4,570	6,200	5,000	+429	+9.4%
経常利益	4,391	6,100	5,000	+608	+13.8%
当期純利益	1,440	4,000	3,200	+1,759	+122.2%
為替レート	US\$= 79.5円 (期中平均)	US\$= 76円 (計画レート)	US\$=78円 (計画レート)		

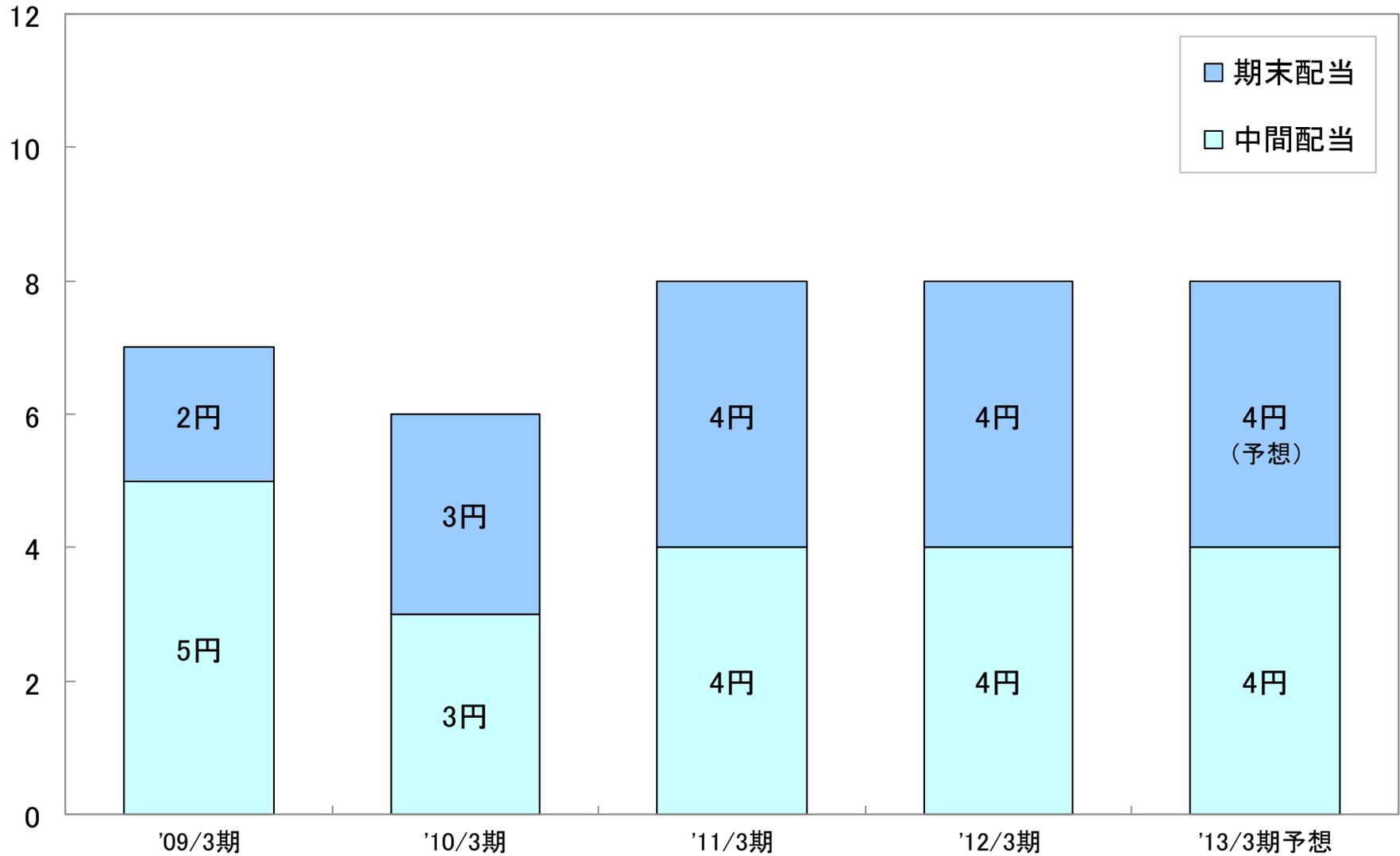
※各セグメントの売上高は消去前

(3)設備投資額と減価償却費の推移

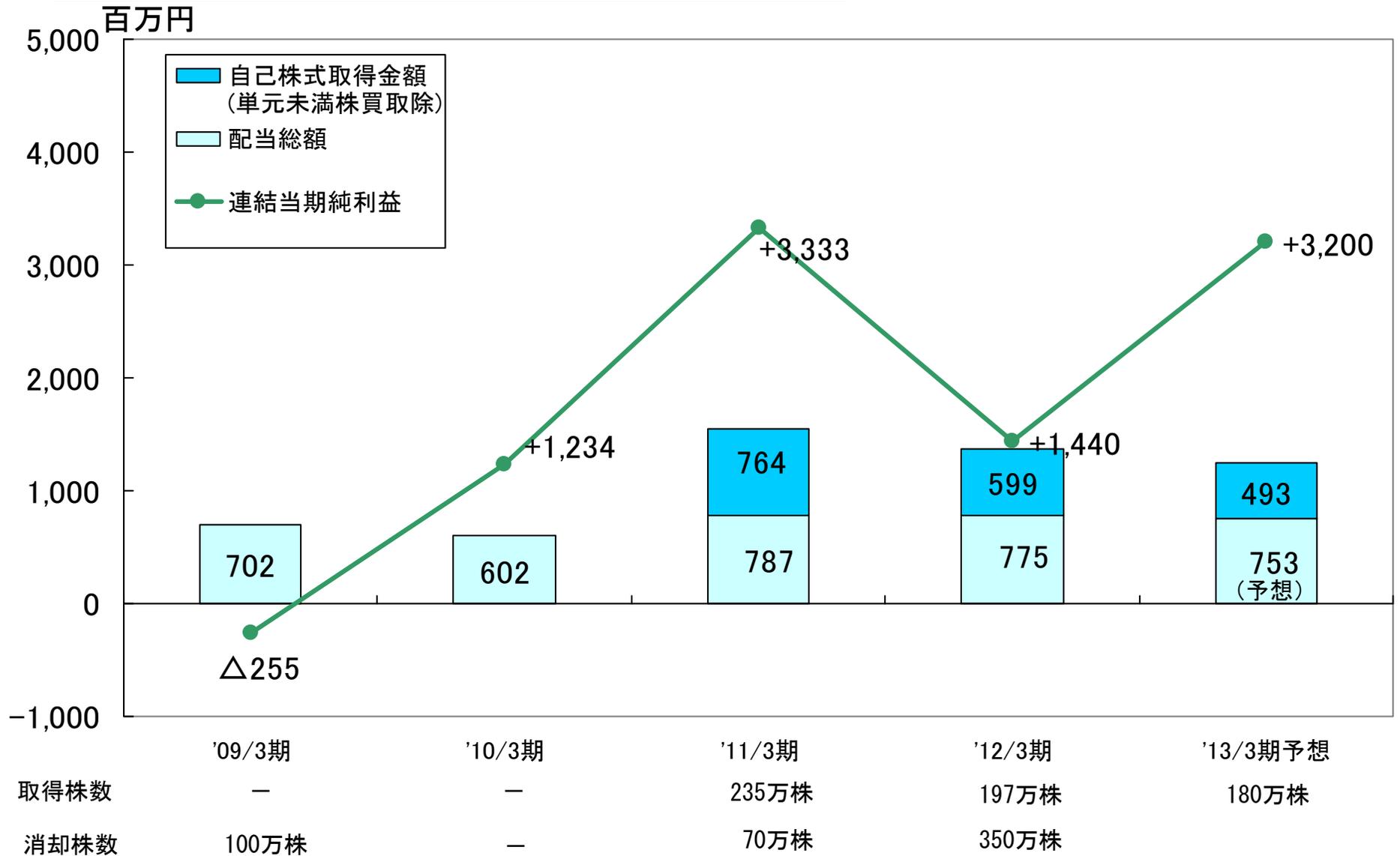
百万円



(4)株主還元(配当金)



(5)株主還元(総還元額)



(6) 主なトピックス

- 2月 Bando Manufacturing(Shanghai)Co.,Ltdに「China Technical Center」を開設(中国・上海)

→ 中国における技術サービス、市場要求に応じた製品改良/開発にむけた情報収集

今後、タイでも技術サポート体制を整備し、アジアにフォーカスした事業拡大をさらに推進

- 2月 Bando Manufacturing(Vietnam) Co.,Ltd.を設立(ベトナム・フンイエン)

→ 自動車、二輪車用機能部品の現地供給体制を構築し、需要の伸長に対応

- 3月 BL Autotec(Shanghai),Ltd. を設立(中国・上海)

→ ロボット関連デバイスの販売・サービス体制を構築し、中国市場での拡販を図る。



↑ China Technical Center

- 6月 ロングシンクロベルトS8Mタイプ

「高電気抵抗仕様」を発売



↑ Bando Manufacturing(Vietnam) Co.,Ltd.



↑ BL Autotec(Shanghai),Ltd.

- 6月 PSベルト「耳ホツレ防止仕様」

「特殊搬送用特厚仕様」を発売

↑ ロングシンクロベルトS8Mタイプ「高電気抵抗仕様」

- 8月 「CSR報告書2012」を発行



↑ PSベルト「耳ホツレ防止仕様」



↑ PSベルト「特殊搬送用特厚仕様」

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

お問合せ先

経営企画部 CSR・広報グループ 小宮 正規

財務部 資金・管財グループ 上田 紀利

電話番号：(078)304-2912

メールアドレス：noritoshi.ueda@bando.co.jp